



令和 8 年度放射線安全取扱部会年次大会 (第 67 回放射線管理研修会) のお知らせ (3)

令和 8 年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

令和 8 年度放射線安全取扱部会年次大会は東北支部が担当し、福島県福島市で開催します。

本大会の概要を以下に示します。

年次大会概要

○開催日：2026 年 10 月 22 日(木)、23 日(金)

○会 場：コラッセふくしま

福島県福島市三河南町 1 番 20 号

○テーマ：「不易流行～震災から 15 年、未来へのエール～」

参加登録の詳細は年次大会ホームページ (https://www.jrias.or.jp/annual_meeting/index.html) でご確認ください。

参加費 (税込)	事前登録	当日登録
年次大会 一般 学生会員	7,000 円 無 料	9,000 円
交流会 一般 学生会員	8,000 円	—

学生会員は入会にあたり年会費として 1,000 円を申し受けます (事前登録のみ)。

交流会の当日登録はありません。定員になり次第締切りとさせていただきます。

〈プログラムのハイライト〉

【1 日目】

●特別講演Ⅰ「放射性同位元素等規制法に関する最近の放射線規制の動向」

(10 月 22 日 11:00～12:00)

原子力規制庁より講師を招き、最新の放射線安全規制の動向について解説いただきます。質疑応答については、ご講演後、個別に対応いただく予定です。

●シンポジウム「不易と流行の間で電離放射線管理の原点と変革を共に考える」

(10 月 22 日 13:10～14:40)

このシンポジウムは企画専門委員会の企画として行います。RI 規制法の専門家である我々放射線取扱主任者には、RI 規制法の範囲外であっても、放射線に関わる様々な課題が持ち込まれます。その最たる例が、電離則に基づくエックス線装置の管理でしょう。本シンポジウムでは、厚生労働省、日本非破壊検査工業会及び東京大学それぞれから専門家をお招きして、令和 8 年 4 月 1 日施行の電離則改正を踏まえたご講演をいただきます。電離則改正の背景や、利用者への特別教育を含む管理の実例等をご紹介します。また総合討論で議論することで、「不易 (変えてはいけない本質) を守りつつ、流行 (時代の変化にあわせた新しいもの) を柔軟に取り入れる」という観点から、エックス線装置の利用に関する理解を深める機会といたします。

●特別講演Ⅱ「震災直後における福島県教育委員会の放射線教育について」

(10 月 22 日 14:50～15:50)

2011 年の東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故は、福島県内の学校教育に対しても大きな影響を及ぼしました。放射線量が長く長期間の避難を求められた地域はもとより、多くの福島県内の学校現場で通常の学校運営が困難になりました。そのようななかで、どのように放射線に関する科学的知見を持ちながら教育活動に当たって行くかが求められておりました。この度ご講演いただく阿部洋己氏は、福島県教育委員会の指導主事等を務められ、多くの困難に直面しながらも、様々な分野の方と交流し、福島県独自の放射線教育を一歩ずつ進めてこられました。子どもたちの将来を考

えながら積み上げてきた放射線教育はどのようなものだったのか、そこに至る過程にはどのようなものがあったのか、15年経った今だからこそ聞いてみたい、その経験を語っていただこうと思います。

●機器展示ショートテクニカルセッション

(10月22日 15:50~16:40)

機器展示ショートテクニカルセッションでは、出展企業が放射線管理に関する取り組みや課題等について、短時間で分かり易くご紹介します。本大会の新たな試みであり、限られた時間のなかで効率的に情報収集ができると共に、日頃の放射線安全管理に直結するヒントや気づきを得ることができます。更にセッション後の機器展示は、気になった内容をその場で確認し担当者と直接対話できる絶好の機会です。参加者・出展企業双方にとっての新たな発見やつながりが生まれる場として、ぜひご活用ください。

●機器展示 (中会議室 401, 小会議室 402)

放射線関連サービス会社及び製品メーカーによる機器展示を行います。各企業の最新技術やサービスを、実際の機器と共にご覧いただける貴重な機会です。ショートテクニカルセッションで紹介された内容について、担当者へ直接質問・相談できる場としてもご活用いただけます。参加者にとっては具体的な課題解決や情報収集の機会となり、出展企業にとっては現場ニーズの把握や新たな連携創出につながる、有意義な交流の場となります。お時間の許す限りぜひお立ち寄りください。

10月22日 10:30~17:40

10月23日 9:10~12:00

●ポスター発表 (中会議室 401, 小会議室 402)

参加者の皆様より、放射線安全管理をキーワードとした内容についてポスター発表をしていただきます。全国の放射線施設の管理担当者、放射線取扱主任者、これから主任者を目指す学生の皆様の意見交換・情報共有の場となることを期待します。優秀ポスター表彰も予定しています。

ポスター掲示: 10月22日 12:00~

10月23日 12:00

ポスター発表時間: 10月22日 16:40~17:40

●相談コーナー (小会議室 403)

(10月22日 15:50~17:40)

放射線管理業務における日頃の疑問や現場ならではの困り事を気軽に共有してみませんか?

今年度は事前申込制ではなく、どなたでもフラットとお立ち寄りいただける形式としました。専門窓口相談するほどではないけれど、少し意見を聞いてみたいといった気軽な情報交換も大歓迎です。

●交流会 (ウェディングエルティ)

(10月22日 18:10~20:10)

ウェディングエルティでの交流会を開催します。今回は福島県での開催ということで、福島の地酒やソフトドリンクを多数用意する予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。なお、交流会に参加希望の方は必ず事前登録を行っていただきますようお願いいたします。

【2日目】

●特別講演Ⅲ「海へ向き合う科学ーALPS処理水をめぐる分析と生物研究」

(10月23日 9:30~10:50)

特別講演Ⅲでは、「ALPS処理水」を巡る2つの重要アプローチについてスポットを当てます。まず、日本原子力研究開発機構の田中康介氏より、第三者評価機関の立場からALPS処理水の精密分析にまつわる現状とその最新知見についてご講演いただきます。

後半は、2025年3月まで実施された「ALPS処理水を希釈した海水を用いた海洋生物飼育」の取り組みとその成果について、東京電力の柴田敏宏氏にご講演いただきます。あまり世間に知られていない現場での創意工夫や、実体験に基づく丁寧な情報発信の歩みについてご紹介いただきます。

●特別講演Ⅳ「福島第一原子力発電所事故後の放射線管理から学ぶ~昨今の危機災害対応のポイントとその限界点」

(10月23日 11:00~12:00)

廃炉作業が行われている福島第一原子力発電所は、構内の96%が一般作業服で入構可能となった現在も作業員の放射線リスクが比較的高いエリアが存在します。作業中には一定頻度の汚染が発生し、時には医療が必要とされる事案も発生しています。

翻って現代の放射性物質・核物質を巡る国際情勢は不確定要素が増大しているにも関わらず、エネルギー事情からは既存の原子力施設を最大限に利用するよう大きな方針転換がなされているため原子力・放射線災害のリスクは以前より上昇しているのが現状です。一方で、健康危機管理の視点からオールハザードを包括的に取り扱うように国の施策も転換されているように思います。

当日は、福島第一原発廃炉現場の医療事情を紹介すると共に、国際情勢や国の施策に間接的に影響を

受けている状況を、地域の医療者の視点から福島県立医科大学の長谷川有史先生よりご講演いただきます。

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局

日本アイソトープ協会学術課

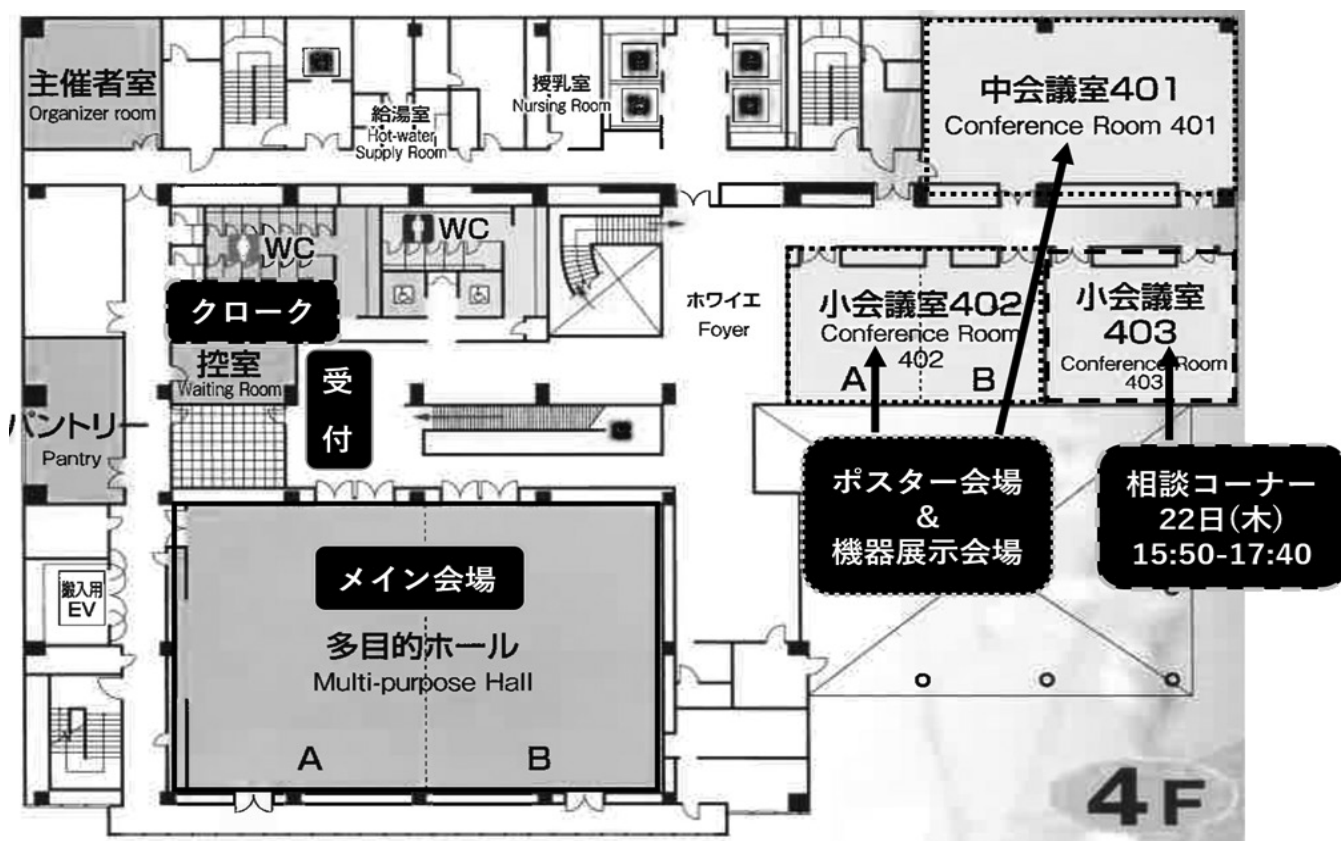
〒113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

TEL 03-5395-8081 FAX 03-5395-8053

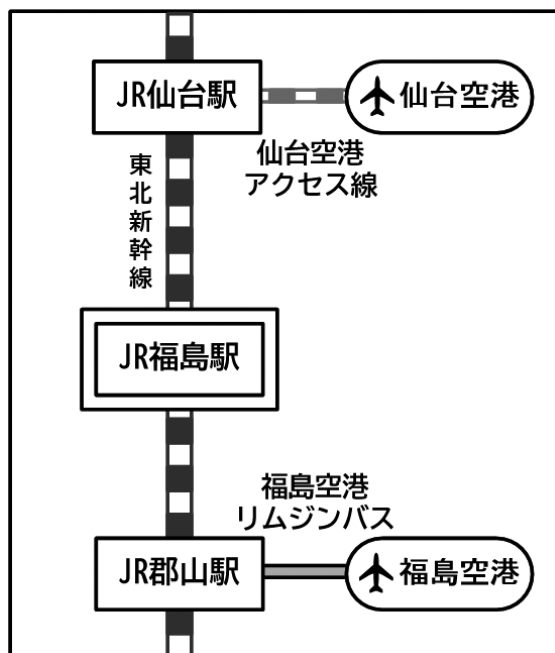
E-mail nenjitaikai@jrias.or.jp

会場レイアウト

コラッセふくしま (4F)



アクセス



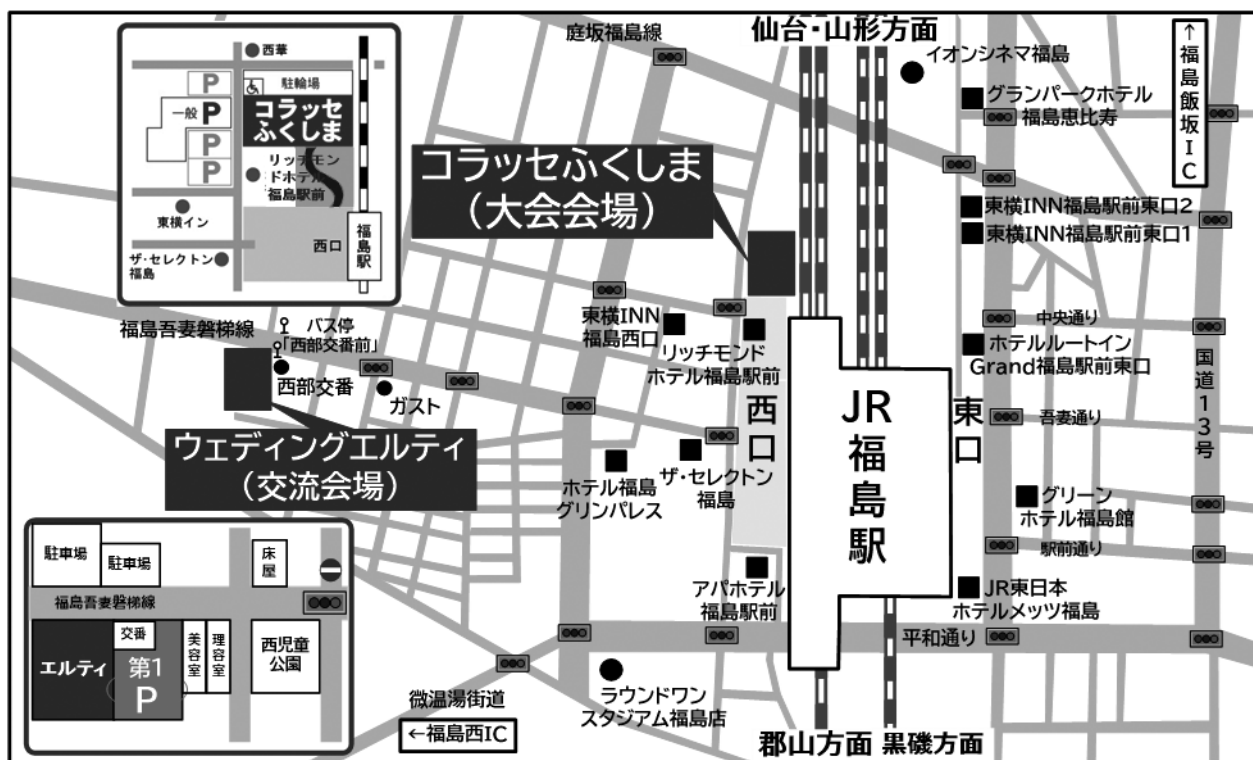
【経路と所要時間】

- 福島空港より
福島空港→JR郡山駅（福島空港リムジンバス） 約40分
JR郡山駅→JR福島駅（東北新幹線下りやまびこ） 13分
 - 仙台空港より
仙台空港→JR仙台駅（仙台空港アクセス線） 25分
JR仙台駅→JR福島駅（東北新幹線上りやまびこ） 26分
 - 高速道路（大会会場まで）
福島西IC、福島飯坂ICから 約15分
 - JR福島駅西口から大会会場コラッセふくしま 徒歩約3分
 - JR福島駅西口から交流会場ウェディングエルティ 徒歩約8分
- 移動時：ウェディングエルティのマイクロバス2台運行 約3分

■お車で越しの方

- ・コラッセふくしま
有料駐車場利用可。（30分まで無料，以降30分毎100円）
 - ・ウェディングエルティ
無料駐車場あり。
- 会場横の第1駐車場が満車の場合は徒歩約5分の第2駐車場へ案内されます。第1駐車場を確保したい場合，事前に大会実行委員会までご相談ください。
- ※ご来場の際は公共交通機関の利用を推奨します。

■福島駅周辺地図



令和 8 年度放射線安全取扱部会年次大会（第 67 回放射線管理研修会）

期 日：令和 8 年 10 月 22 日（木）10：00～23 日（金）13：00

会 場：コラッセふくしま（福島県福島市三河南町 1 番 20 号）（福島駅西口から北へ徒歩 3 分）

交流会：ウェディングエルティ（福島県福島市野田町 1 丁目 10 番 41 号）

プログラム

○ 1 日目 10 月 22 日（木）

時 間	多目的ホール	備 考
9：30～	開場・参加受付（4 階ロビー）	クローク（受付横）
10：00～11：00（60）	開会・部会総会 令和 8 年度 放射線安全取扱部会 表彰式 （放射線安全管理奨励賞）	9：30～18：00
11：00～12：00（60）	特別講演Ⅰ 「放射性同位元素等規制法に関する最近の放射線 規制の動向」 江田正明氏（原子力規制庁） 森山文基氏（原子力規制庁） 座長 高橋和弘氏（福島県立医科大学）	機器展示（401, 402） 10：30～17：40
12：00～13：10（70）	昼食休憩	ポスター掲示（401, 402） 発表者は 12：00 まで貼り終 え、翌日 12：00 まで掲示
13：10～14：40（90）	シンポジウム 「不易と流行の間で電離放射線管理の原点と変革 を共に考える」 (1) エックス線管理に関する電離則改正の背景、 内容とその解釈 金浜健人氏（厚生労働省） (2) 非破壊検査の現場と安全対策（放射線測定 と教育） 釜田敏光氏（日本非破壊検査工業会） (3) 電離則改正に込められた意図とその合理的 な現場適用上の工夫と留意点 飯本武志氏（東京大学） (4) 総合討論 座長 牧 大介氏（千代田テクノル）	相談コーナー（403） 15：50～17：40
14：40～14：50（10）	休憩	
14：50～15：50（60）	特別講演Ⅱ 「震災直後における福島県教育委員会の放射線教 育について」 阿部洋己氏（元松陵中学校校長） 座長 山口克彦氏（福島大学）	
15：50～16：40（50）	機器展示ショートテクニカルセッション 司会進行 船木善仁氏（東北大学）	
16：40～17：40（60）	ポスター発表（401, 402） （16：40～17：10） 奇数ポスター説明 （17：10～17：40） 偶数ポスター説明	
17：40～18：10（30）	移動	
18：10～20：10（120）	交流会（ウェディングエルティ）	

○ 2 日目 10 月 23 日(金)

時 間	多目的ホール	備 考
9：10～ 9：30～10：50 (80)	開場・参加受付 (4 階ロビー) 特別講演Ⅲ 「海へ向き合う科学－ALPS 処理水をめぐる分析 と生物研究」 (1) ALPS 処理水の分析 (仮題) 田中康介氏 (日本原子力研究開発機構) (2) ALPS 処理水を希釈した海水による海洋生物 飼育の取り組み 柴田敏宏氏 (東京電力) 座長 遠山 翔氏 (東北大学)	クローク (受付横) 9：10～13：00 機器展示 (401, 402) 9：10～12：00 ポスター掲示 (401, 402) 9：10～12：00 ポスター撤去 12：00～13：00
10：50～11：00 (10) 11：00～12：00 (60)	休憩 特別講演Ⅳ 「福島第一原子力発電所事故後の放射線管理から 学ぶ～昨今の危機災害対応のポイントとその限 界点」 長谷川有史氏 (福島県立医科大学)	※ 13：00 以降に貼ってあるポ スターは実行委員会で処分し ます。
12：00～12：10 (10) 12：10～13：00 (50)	座長 角山雄一氏 (京都大学) 休憩 大会のまとめ、ポスター賞発表 次回大会紹介 閉 会	

ポスター発表申込み一覧

分類	番号	表題	氏名（所属）
施設管理・運用・緊急時対策	A-01	長期保管された旧 RI 実験試薬の発見と放射線安全管理上の対応	長野圭司, 中神佳宏（獨協医科大学）, 高井剛（関西電力病院）, 金川政史, 小嵩正彦（住重加速器サービス（株））
	A-02	新規設置した研究用 X 線 CT 装置における局所漏えいの検出と改善対応	二階堂満, 飯塚裕幸, 渡邊武, 飯尾智, 李洪玲（東京大学）
	A-03	特別措置病室の設置に伴う患者から排泄される尿中の RI 対策（慶應義塾大学病院の場合）	片岡賢英（慶應義塾大学）
	A-04	放射線測定器の信頼性確保のための点検・校正の一事例—法施行後 3 年経過時点での評価—	阿部利明, 宮原淳一, 府川洋代, 日南真理, 馬田敏幸（産業医科大学）
	A-05	RI 管理者が担う化学物質管理体制の構築—奈良県立医科大学の事例—	菓子野元郎, 栗本一基（奈良県立医科大学）
	A-06	NanoTerasu の安全性と利便性の両立を支える基盤技術 - 放射線安全とネットワークインフラ	早川勢也, 萩原雅之, 竹内章博, 松田洋樹, 森川宣之, 中谷健, 塚本光昭（量子科学技術研究開発機構）
	A-07	実用的な DX 化を目指した点検支援アプリケーションの開発	岩崎智之（愛媛大学）
	A-08	非密封 RI 使用施設の廃止に係る手続きと工程管理	永井直子, 藤井雄太, 三森雄二, 日高裕子（理化学研究所）
	A-09	RI 実験施設の改修工事とその後の運用	甲高彩華（島根大学）
放射線教育・啓蒙活動	B-01	「放射線によるがん治療」を「放射線の人体に与える影響」の教材とする試み	河野孝央（（株）日本遮蔽技研）
	B-02	薬学生ファシリテーターを交えた中高生のリテラシー醸成に有用な放射線教育の提案	藤野秀樹, 栄井修平（兵庫医科大学）
	B-03	RI 実習教育における動物用 SPECT/CT 装置の導入と有用性の評価	山川博文, 松本麻里花, 瀬戸口修一, 松永和久（福岡大学）
	B-04	ニュースパルの放射線安全教育の現状と実験ホール非管理区域化への取り組み	松本悠史, 田中省吾, 中野弘子, 今井康彦（高輝度光科学研究センター）
	B-05	電離則等の改正後におけるエックス線装置の管理と教育訓練	片岡憲昭（東京都立産業技術研究センター）, 古渡意彦（量子科学技術研究開発機構）
	B-06	生成 AI を用いた放射線安全教育業務のサポートシステムの構築	川原隆爾, 佐藤和則, 高村美穂, 長倉友理江, 渡部浩司（東北大学）
	B-07	360 度カメラ映像を用いた汚染検査 KYT 用 VR コンテンツの制作と評価	永元啓介, 山本愛菜, 谷直道, 香崎正宙, 岡崎龍史（産業医科大学）
	B-08	日本保健物理学会「受動形個人線量計の空港保安検査対策ガイドライン」の紹介	日本保健物理学会 放射線防護標準化委員会
分科会・委員会・支部活動	C-01	「次世代放射線管理を考える分科会」の活動報告	次世代放射線管理を考える分科会
	C-02	分科会活動報告 現場に即したオーダーメイド型放射線安全教育の構築—獣医療従事者の放射線防護を支えるために—	獣医療放射線防護教育分科会
	C-03	企画専門委員会の活動—令和 8 年度 教育訓練講習会アンケート調査結果とその考察—	放射線安全取扱部会 企画専門委員会
	C-04	令和 9 年度放射線安全取扱部会年次大会のご案内	放射線安全取扱部会 中国・四国支部
	C-05	放射線教育を AI で—法令編—	放射線安全取扱部会 関東支部
	C-06	PET 施設管理研究会の活動報告	PET 施設管理研究会
	C-07	放射線取扱施設における安全管理技術の継承分科会活動報告 2026	放射線取扱施設における安全管理技術の継承分科会
	C-08	近畿支部活動の紹介	放射線安全取扱部会 近畿支部
環境放射能・その他	D-01	医療放射線安全管理に関する行政機関でのデジタル技術活用の現状	山口一郎, 茂呂田孝一（国立保健医療科学院）, 小林剛（東京都保健医療局）, 菱沼隼人（茨城県保健医療部）, 望月真吾（愛知県岡崎市保健部）
	D-02	日本アイソトープ協会における放射性廃棄物の焼却処理について	小柳勇, 高橋良卓（日本アイソトープ協会）
	D-03	短寿命 α 線核種 ^{211}At の内部被ばく防護の検討	小坂尚樹, 野川憲夫, 松垣正吾, 和田洋一郎（東京大学）
	D-04	福島原子力発電所事故後の陸域環境中における I-129, 131 および Te-129m	松村万寿美, 笹公和, 末木啓介, 高橋努（筑波大学）, 松中哲也（金沢大学）, 脇山義史（福島大学）, 松崎浩之（東京大学）
	D-05	NanoTerasu における生成 AI を活用した放射線業務の実態	松田洋樹, 萩原雅之, 竹内章博, 早川勢也, 森川宣之（量子科学技術研究開発機構）, 小沼洋平（東京ニュークリア・サービス（株））

掲示時間（10 月 22 日 12：00～23 日 12：00）

発表時間（10 月 22 日 16：40～17：40）

奇数番号ポスター説明（16：40～17：10）偶数番号ポスター説明（17：10～17：40）